

令和5年度 第1回 政策決定会議 会議録②

-
- ◆開催日時：令和5年5月15日（月） 10：15～10：35
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、大下教育長
 - ◆説明者：西川総合政策部長、田中企画課長、中井主幹(スマートシティ推進担当)
-

◆審議事項

岸和田市スマートシティ構想策定に係る専門委員会の設置について・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉スマートシティ構想の策定について、状況はどんどん変わっていくので、哲学の部分と柱の部分は早急に作り、産業や観光、文化、交通、環境エネルギー、脱炭素等各個別分野に落とし込んでいってほしい。

スマートシティは“まちづくり”であることを意識し、システムの議論に留まらず、「将来ビジョン・岸和田」に謳っているように市民が“幸せ”を実感できるようにするためのものだとすることを明確にしておくこと。

また、もう一つの大きな狙いは脱炭素。具体的な企業提案も出てきているので、それらを取り込めるようなものにしてほしい。また、これを機会に脱炭素は海から山までのまちづくりの中に昇華させ、海から山までを全てスマートシティで結びつけていくようなまちづくりにつなげてほしい。

岸和田市でも急速な高齢化や人口減少が課題になってきている。LINE等SNSを活かした高齢者の見守りや、コンビニ等での買い物がスマートフォンで完結するスマートストアの導入など、他市での取組も踏まえ、高齢者等の生活の利便性を高めるような具体的な取組について議論してほしい。

〈教育長〉スマートシティの支援事業者は非常に重要であるため、行政の状況に応じ、理念や独自性を持って推進していける能力があるかということに重きを置いて選考してもらいたい。

〈市長〉スマートシティという概念が現状の行政やまちづくりに付加されることで、複雑化しては意味がない。スマートシティによって社会がシンプルになることをめざすべきなので、一つ一つの取組の中で、シンプルになっているか確認しながら進めてほしい。スマートシティはインフラなので、どの自治体にも整備されているものについては、標準的に進めていき、一方でいくつか先駆的な取組も行っていく。切り分けを意識して進めていくことが重要。他の自治体や大阪府等のスマートシティの進捗状況を見ながら、標準装備すべきものは漏れなく行っていくように。

早い段階で考え方を示していかなければならないが、市民の暮らし、福祉の向上のためのものだということはしっかり説明してもらいたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和5年4月 26 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市スマートシティ構想策定に係る専門委員会の設置について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田市スマートシティ構想の策定に係る検討を進めるため、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 15 条の規定に基づき、政策決定会議の専門委員会として、「岸和田市スマートシティ推進委員会」を設置することについて付議するものです。
説明者	田中 企画課長 中井 主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和5年度 第1回会議
付議事項	岸和田市スマートシティ構想策定に係る専門委員会の設置について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	ICTなどの先端技術を活用して、都市課題を解決し、持続可能な都市をめざすスマートシティの推進に向けて、岸和田市スマートシティ構想を策定する。効果的かつ効率的な市政運営実施のための庁内会議体として、岸和田市スマートシティ推進委員会の設置を行う。

★総合計画上の位置付け

6020202	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

★現状と課題

国では、IoT、AI、ビッグデータ等の先端技術を利用し、都市課題の解決や都市機能の効率化に活かそうとする「スマートシティ」の推進を進めており、本市においても、将来ビジョン・岸和田において、分野横断的にICT・先端技術を活用して将来像の実現を図ることとしている。現在、大阪府スマートシティパートナーズフォーラム(OSPF)に参加し、個別の取組を進めているが、今後、分野横断的かつ計画的に推進するため、スマートシティの方向性を示すものとして、岸和田市スマートシティ構想を策定する必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
岸和田市スマートシティ構想策定支援業務委託			13,200					
岸和田市スマートシティ構想の見直し							13,200	
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源			13,200				13,200
	その他							
事業費			計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
			13,200	0	0	0	13,200	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
(有) 無	1	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
① 協議会参加団体数	団体			0	3	6	10		
② 実装サービス数	件			0	0	1	2		

※事業費及び人員を確約するものではない。